

1. 社会連携推進室報告

1) ふじみ野市関連について

・アートフェスタふじみ野

2025年1月18日(土)19日(日)音楽&アートの祭典「アートフェスタふじみ野2024」がふじみ野ステラ・ウエストにて開催。実行委員：児童発達学科 渡辺行野先生 木村浩則先生
会場ボランティア学生10名が参加。来場者延べ約7,000名。



・ふじみ野市産業振興課

2月6日(木)15:00~17:00 E208

ふじみ野市キラリと光るものづくり企業連携交流会

報告者：コミュニケーション社会学科 嶋崎東子先生 中山智晴先生

・部活動地域移行/地域文化クラブシンポジウム

2月9日(日)13:00~16:00 日本青年館ホテル8階

報告者：渡辺行野先生(児童発達学科) パネリスト：朝倉孝 ふじみ野市教育長

主催：公益財団法人音楽文化創造

・「戦後地域資料を読む」研究会

3月1日(土)13時~16時

場所 上福岡歴史民俗資料館

報告者 岩館豊先生 栗原真史先生

・上福岡西公民館 家庭教育セミナー

3月8日(土)・15日(土)10:00~12:00(連続2回講座)

対象：年少~小学2年生の子と保護者 10組

担当：児童発達学科 菖蒲澤侑先生

・ふじみ野市文化芸術企画提案型委託事業

3月22日(土)11:00~16:30 ふじみ野ステラ・ウエスト

文京学院100周年記念 第2回コンサート&シンポジウム

2) 文京区関連について

- ・3月10日(月) 学生支援担当者連絡会議 報告会 参加予定

3) 日本環境マネジメント(株)との産学包括協定について

- ・1月27日(月)にふじみ野キャンパスにて協定調印式実施。
- ・協力企画 ワークショップ(2月1日・2月22日・3月1日・3月15日)

令和6年度

文京区の大学に通う学生による

地域活動 報告会

令和7年

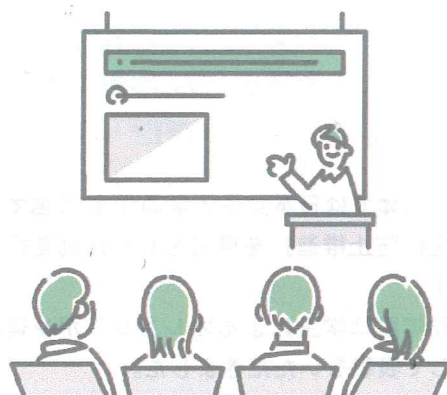
3/10 [月]

13:00~15:30

※15:30~16:00は学生のみを対象とした
グループワークを行います。

文京区にキャンパスを置く大学による地
域貢献活動の取り組みは、年々増加してい
ます。実際に活動した学生による事例報告
を7大学、12団体のみなさまに発表してい
たきます。

会場 日本女子大学
百二十年館 12001教室
(東京都文京区目白台2-8-1)



学生支援担当者連絡会議とは

各大学の社会貢献活動の事業に携わる職員
の連絡会です。

今年度から文京区社会福祉協議会が主催し
ています。

参加大学

跡見学園女子大学／拓殖大学／中央大学／東京大学／東洋大学／
日本女子大学／文京学院大学（7大学・12団体）

お問合せ 文京区社会福祉協議会 地域連携ステーション 学生支援担当

📍 文京区本郷4-15-14 ☎ 03-3812-3044・03-3812-3114

主催 文京区社会福祉協議会

共催 日本女子大学

後援 文京区

協力 文京区学生支援担当者連絡会議参加校のみなさま

文京区部門

1 オレンジリボン運動有志団体 日本女子大学チーム 学生だからこそできる オレンジリボン運動（日本女子大学）

弊団体では日本女子大学の学生20名で、「子ども虐待防止推進」を目的とした活動を行なっています。
昨年度は学生によるオレンジリボン運動参加校として表彰をいただきました。
今年度はさらに活動の幅を広げており、大学内のみならず地域での活動にも積極的に目を向け、大学生の私たちだからこそできることに取り組んでいます。

3 行こうよ！文京浴場 学生プロジェクト （拓殖大学・跡見学園女子大学）

拓殖大学と跡見学園女子大学が共同で行うこのプロジェクトでは、文京区にある4つの銭湯を広報し、文京浴場と協力して地域活性化を目指しています！
活動内容としては、週1回の定例会でイベント企画のアイデアを共有し、銭湯内での縁日や大学での企画、外部イベントへの参加を実施しています。これらの活動を通じて、銭湯への愛着を高め、銭湯に関心のなかった人々にもその魅力を伝えることを目指し、学生主体で取り組んでいます。

5 学ボラ（東洋大学）

学ボラは、東洋大学の公認ボランティアサークルです。地域支援を中心に幅広いボランティアを行っており、遠方だと中越地震の災害地であった山古志村の住民とのお神輿行事や、大学周辺では地域住民との交流を目的とした朝活等です。また今年度はこのような活動が評価され一般財団法人学生サポートセンター主催の「学生ボランティア団体活動レポート」にて、優秀レポートとして採択され、今後の活躍が期待される団体です。

2 向丘・白山コミュニティフェスプロジェクト （文京学院大学）

向丘・白山地域では、小さい子どもを持つ若い夫婦世帯が多く見られることから、移住者と地域住民が緩やかなつながりを持ちにくいことが課題であった。まちラボプロジェクト演習という授業の一環から始まり、大学のような開けた場所から新たなコミュニティをつくり、親子を中心とした楽しめる空間の実現を目指している。今年度は新たに「"みんな"のあき地」というコンセプトを生み出し、世代を超えた場づくりに取り組みました。

4 若者の居場所支援における 学生ボランティア活動 （跡見学園女子大学）

「コミュニティ心理学」をテーマとするゼミ活動の一環として、学生がボランティアとして若者支援の居場所に参加しています。秋学期には「居場所活動への参画を通して、学生ボランティアが関わる方法と意義について整理すること」というゼミの目標を立てました。居場所での関わりを通して学んだこと、及び学生が貢献できることについて報告します。

6 東洋大学ボランティア支援室 学生サポートスタッフ（東洋大学）

私たち東洋大学ボランティア支援室学生サポートスタッフ、略してサボスタは、『ボランティアが応援される社会』を目指して日々活動しています。普段は、当大学にある「ボランティア支援室」で、学生に対してボランティア相談を行ったり、ボランティア未参入の学生に向けての企画を立案・運営しています。また、学内にあるボランティア団体の活性化に向けても活動中で、多くの団体とのコネクションづくりに注力しています。

7 I LADY.（跡見学園女子大学）

こんにちは！！I LADY.です。私たちは主に10代から20代へSRHR（性と生殖に関する健康と権利）を多くの人に伝えるために活動しています。ジェンダーや生理、デートDVやボディイメージなどのワークショップを行い、SRHRについて考える機会を設けています。主に文京区で活動しておりカラーリボンフェスタや東京ドームのラクア、また学園祭や地元のイベントなど文京区以外の場所でも活動しています。皆さんもSRHRについて一緒に考えてみましょう。

8 東京大学運動会応援部 （東京大学）

東京大学に所属する運動会運動部を応援すると共に、皆様に元気を届けるパフォーマンス活動を行います。リーダー、吹奏楽団、チアリーダーズによる力強い演舞で皆様を魅了します。
また、昨年の9月には本富士警察署と合同で「秋の全国交通安全運動」を周知するためのパレードを本郷キャンパス付近で行い、文京区を盛り上げる活動も行っております。

区外部門

9 日本女子大学葉袋研究室（地域居住） そこにある魅力を見つけ、伝え、広める （日本女子大学）

日本女子大学葉袋研究室のメンバーは、津波被災地の岩手県唐丹町で地域の魅力の再発見をお手伝いしました。9月に唐丹かるたワークショップを開催し、住民の方と地域の誇りや歴史をテーマにした15枚のカルタを作成。世代を超えて楽しんでもういただけました。また、様々な自治体の協力を得てまち歩きゲーム「たまげっさー」を実施し地域内外の人に地域の空間的魅力認識を高める活動も行いました。

11 東京少年友の会学生ボランティア （中央大学推薦）

私たち「東京少年友の会 学生ボランティア」は家庭裁判所からの依頼を受けて、試験観察中にある少年たちの更生や社会復帰を手助けするボランティア団体です。現在は約80名の学生が所属しており、みなそれぞれ所属は違えど、少年への様々な「思い」を抱えながら日々活動に取り組んでいます。

10 記憶をつなぐまちあるき あの日 あの頃に出会い直す（文京学院大学）

本プロジェクトは、埼玉県ふじみ野市にて「記憶をつなぐ」ことをテーマとして、戦時中に存在した兵器工場の跡地を歩いてめぐる歴史の継承活動を実施しています。2025年は終戦から80年が経過します。戦争を知る世代が次第に高齢化していく中で、戦争を知らない若い世代が改めて戦争の歴史や市内にかつて存在した兵器工場に出会い直し、その記憶をつなぐことで、平和について考える機会となることを目的としています。

12 日越カルチャー（拓殖大学）

日本への留学に関心の高いベトナムの高校生たちに日本のことをより深く知ってもらうべく、日本の大学生7名でベトナムのカントー市にある高校で2日間にわたって国際交流イベントを実施しました！イベントでは言葉を使わなくても楽しめるレクリエーションなどを行い、参加してくれた100名以上の高校生たちと親睦を深め、お互いの文化について学び合うことができました！